

## 質問内容

### 六議案に対する反対討論、及び一議案については意見を

#### 県民の暮らしと営業

議第一号一般会計補正予算に反対

議第十八号、一般職員の給与の一律カットに反対

議第二十号、看護師確保など一部定数増もありますが、これ以上の定数削減には反対

議第二十三号、手数料条例は、生命保険の診断書料の大幅な引き上げなど、教職員免許法による更新講習手数料新設に反対

議第三十四号、国土利用計画については、自然と調和する県土利用とのことですが、経済活性化のために産業立地を進めるとして、京奈和自動車道をはじめとする道路整備網、リニア中央新幹線の誘致促進など、開発型の計画を進める立場であることから反対

議第百十三号、平成二十年度一般会計補正予算につきましては、東部山間広域農道繰り越しは相当の年数を要しておりますが、緊急に必要とされる状況ではなく、計画は中止すべきとの立場で反対

議第百十九号、青少年の家条例の廃止は、青年の社会活動を促す施設はもっと必要であり、今後議論が必要であるとの意見をつけて賛成

◆三十一番（今井光子）（登壇）私は日本共産党を代表して、六議案に対する反対討論、及び一議案については意見を述べさせていただきます。

県民の暮らしと営業は、アメリカ発の国際経済危機のもとで急速な景気悪化が起こり、深刻な打撃を受けています。景気悪化の背景には、財界、大企業優先で、中小企業や雇用、社会保障を切り捨て、格差と貧困を広げてきた政治の行き詰まりがあります。雇用対策と経済の活性化で内需を拡大し、社会保障の拡充で家計を応援する政策の転換こそが今求められています。

ところが、平成二十一年度予算は相変わらず大企業優先、開発優先になっています。企業誘致の助成金は昨年支出ゼロでしたが、さらに九億円に増額。ホテル誘致のために県民に断りなく警察署を移転して、ホテルと一体化で大型の開発計画をつくる。採算の見通しのない学研第二工区の開発も推進の方向です。県民の声を聞かずに進めるやり方も問題です。庁舎移転など、利用者の意見を聞くべきです。

いよいよ来年に迫った国策事業と位置づけた平城遷都一三〇〇年祭は、百億円の協会予算さえ二十億円の民間の寄付のめども難しく、パークアンドバスライド駐車場では二十億円もの建設費の投入。また、これに合わせて平城宮跡の国営公園化も急いでおり、近鉄線の移設・地下化を検討する予算は世界遺産の地下埋蔵文化財を消滅の危険にさらすおそれもあり、世界遺産を守るべき立場の奈良県がやることではありません。また、新公会堂と奈良公園館を一体としてレストランにリニューアルするのに四億円もかけるなど、県民の納得を得られるものではありません。

市町村は財政難で大変です。とりわけ、過疎地では限界集落が百十五カ所もあり、バスも一日おきしか来ない、集会所の管理もできない。鳥獣被害で、せつかくの農作物も猪や鹿の残りを食べているような状況で、日常生活の維持すら困難を抱えています。来るか来ないかわからないようなホテルや大企業の誘致、いつきのイベントに多大な予算を使うことを見直し、緊急に必要なところに使うべきです。

県民の暮らしの分野では、医師確保対策の充実や妊産婦健診の十四回の無料化など評価できる点もありますが、

高い国民健康保険料や介護保険の改善を求める要望、四億円あれば実現できる乳幼児医療の窓口無料化、少人数学級の要望にこたえていません。

よって、議第一号一般会計補正予算に反対いたします。

議第十八号、一般職員の給与の一律カットに反対します。

議第二十号、看護師確保など一部定数増もありますが、これ以上の定数削減には反対いたします。

議第二十三号、手数料条例は、生命保険の診断書料の大幅な引き上げなど、教職員免許法による更新講習手数料新設に反対します。

議第三十四号、国土利用計画については、自然と調和する県土利用とのことですが、経済活性化のために産業立地を進めるとして、京奈和自動車道をはじめとする道路整備網、リニア中央新幹線の誘致促進など、開発型の計画を進める立場であることから反対します。

議第百十三号、平成二十年度一般会計補正予算につきましては、東部山間広域農道繰り越しは相当の年数を要しておりますが、緊急に必要とされる状況ではなく、計画は中止すべきとの立場で反対いたします。

議第百十九号、青少年の家条例の廃止は、青年の社会活動を促す施設はもっと必要であり、今後議論が必要であるとの意見をつけて賛成いたします。

以上で討論を終わります。